

私たちがつくる かわねStories

静岡県立川根高等学校

Shizuoka Prefectural Kawane High School



新東名高速道路「島田・金谷I.C.」より国道473号線経由。
国道1号線・藤枝バイパス「向谷I.C.」より県道64号線経由。



JR金谷駅で大井川鐵道に乗り換え「家山駅」で下車
家山駅で代行バスに乗り換え「徳山停留所」で下車
※代行バス(川根本町コミュニティバス) / 令和8年5月現在



川根本町教育委員会教育総務課

静岡県榛原郡川根本町千頭1183-1
TEL.0547-58-2555 FAX.0547-59-4025
✉ kyouiku-soumu@town.kawanehon.lg.jp

川根本町役場

Web Site

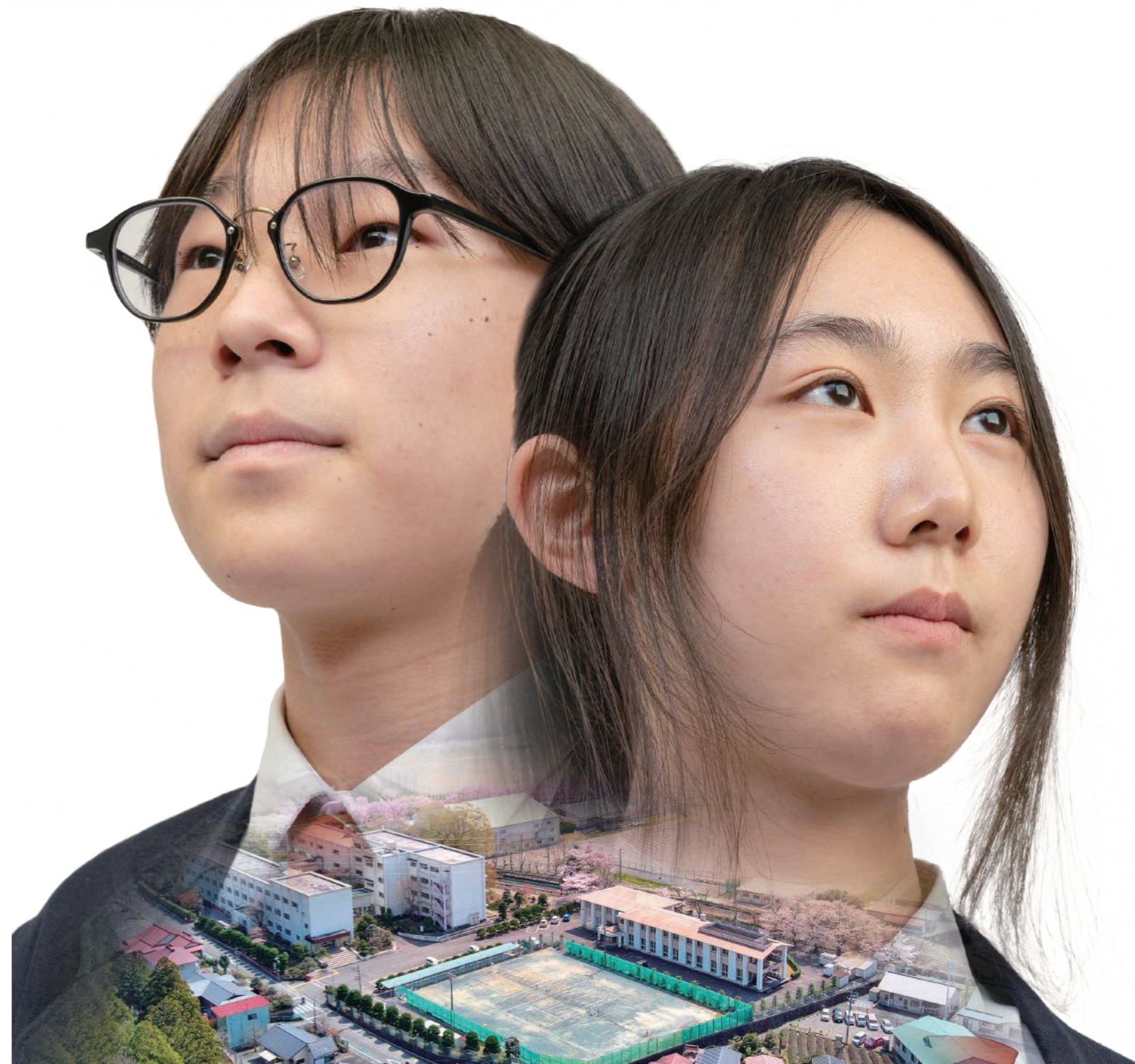


静岡県立川根高等学校

静岡県榛原郡川根本町徳山1644-1
TEL.0547-57-2221 FAX.0547-57-2446
✉ kawane-h@edu.pref.shizuoka.jp

川根高校

Web Site



南アルプスの麓から流れる 大井川の中流域に位置する 自然が豊かな町。

静岡県の中央を流れる大井川の中上流部に位置し、町境の東側は静岡市、西側は浜松市、南側は島田市と隣り合っています。

町域は大井川に沿って東西約23km、南北に約40kmと南北に細長い形をしています。面積は496.88km²で(静岡県全体の6.4%)、その内の約94%を森林が占めています。日本三代銘茶のひとつ「川根茶」の産地として知られ、新茶の時期は町全体が活気で溢れます。

奥大井と呼称される観光地でもあり、町全体が南アルプスユネスコエコパークに登録され、自然環境に優れた町として世界的に認められています。日本で唯一のアプト式鉄道「南アルプスあぶとライン」が走り、接岨湖に架かるレインボーブリッジと奥大井湖上駅の大パノラマは、日本の観光名所に贈られる「クールジャパンアワード2019」を受賞するなど一見の価値があります。また「寸又峡温泉」「接岨峡温泉」も泉質の良い出湯として親しまれています。

接岨湖に架かる「レインボーブリッジ」と奥大井湖上駅
大きく蛇行した大井川の接岨湖に架けられた赤い鉄橋と接岨湖に浮かぶ島のように見える「奥大井湖上駅」の大パノラマは、静岡県屈指の息を呑むほどの絶景です。

人口



5,421人

2,600世帯
(内65歳以上が53.1%)
※2026年4月1日現在

仕事

就業人口 3,242人



※2020年国勢調査

医療

診療所 — 5ヶ所
歯科医 — 4ヶ所
福祉施設 — 4ヶ所



Clinic



医院

防災・防犯

消防署 — 1ヶ所
交番 — 6ヶ所




気候

夏は雨が多く、冬は空気が乾燥して少雨になります。季節や昼夜の寒暖差が大きく、そのため美味しい農作物が育ちます。

平均気温 14.9℃
最高気温 37.7℃
最低気温 -8.5℃

☀️
※2025年気象庁

買い物

スーパーマーケット — 4店
コンビニエンスストア — 2店
ガソリンスタンド — 7店
金融機関 — 7ヶ所




特産物

お茶 しいたけ
ゆず 自然薯




町の自慢



南アルプス
ユネスコエコパーク
南アルプスユネスコエコパーク登録



世界農業遺産
静岡の茶草場農法



日本で最も
美しい村連合加盟



この町で、
新しい一歩を踏み出してください。

豊かな自然はもちろんですが、川根本町の一番の自慢は人の温かさです。地域の方々との関わりの中で、沢山学んでほしいことがあります。回り道をしてもいい、大切なのは前に進むこと。快適な寮、町営の塾も作り、勉強やスポーツに思いきり挑戦できる環境を整えました。町ぐるみで皆さんを歓迎します！

川根本町長 菅田 靖邦



川根高校横の「徳山の枝垂れ桜」
4月になると川根高校のグラウンド横を流れる桃沢(ももんざわ)には、沢の両岸に覆いかぶさるように約300本のソメイヨシノが一面に花を咲かせます。また数日遅れてグラウンド東側の道路約150mには、約50本のしだれ桜が咲き始め、毎年多くの花見客で賑わいます。



寸又峡の「夢のつり橋」
静岡県を代表する景勝地で「21世紀に残したい日本の自然100選」や「死ぬまでに渡りたい!世界の徒歩吊り橋10選」に選ばれています。全長90メートル、高さ約8メートルの吊り橋で、深い森の静寂の中「エメラルドグリーン」の湖面の空中を歩くかのような浮遊感を味わえます。

川根高校で過ごす3年間で
あなたも大きく成長できる。

川根本町の魅力は、豊かな自然と温かく懐が深い地域の人々。自然と人のパワーが全国から集まる生徒を支え、新たな力や可能性を引き出す源です。様々な生徒たちがお互いを尊重しながら高めあっていく。小規模校ならではの深いつながりの中で過ごす3年間は、あなたを一回りも二回りも大きく成長させてくれるでしょう。百聞は一見に如かず。まずは川根高校を見学に来てください。

校長 桑原 克之



未来を切り拓く力(自律性・人間性・探究心)を備えた人材の育成

連携中学校、県内全域、全国から生徒が集う学校として、地元自治体、企業等との連携による探究活動や少人数指導などの教育活動を通して、未来を切り拓く力(自律性・人間性・探究心)を備えた人材の育成を目指しています。

川根高校の学び



～地域で育ち、地域から世界へ広がる学び～

- 出会いが広がる学校
 - ・川根留学生等、多様な仲間や価値観に触れる
- 学びが広がる
 - ・探究×地域×実社会(大学・企業との連携)
- 一人ひとりが活躍できる学校・小規模の強み

KAWANEXT



～「次の出会い」が自分を変える～

- より魅力的な地域の高校へ
 - ・学科改善に向けたカリキュラムの再編
- 「挑戦」と「可能性」があふれる環境
 - ・インドICT 研修等、成長のフィールドは無量大
- 安心・安全な学びの場づくり・充実した支援体制

シームレスな共育

川根本町では、教育全体の取組として「地域への誇りと愛情(共生)」「豊かな自然(自立)」をもった「未来共創人材」が育つ共育をモットーに、0～18歳までのキャリア発達を目指したシームレスな共育を行っています。



川根中学校



三ツ星学園

連携型
中高一貫教育



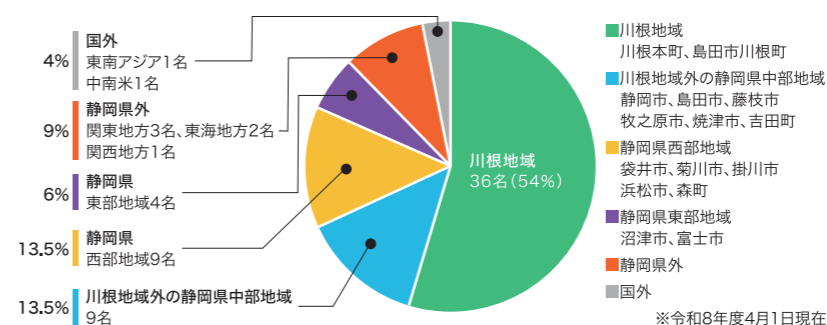
光の森学園



川根留学

県内・県外を問わず、川根地域外から川根高校で学ぶことを「川根留学」といいます。「川根留学」は平成26年度から県内、平成28年度から全国での受け入れを開始し、現在では在校生のうち、約半数が川根留学生です。

在校生の出身地域(市町村)



共有スペース



食堂



個室

夏期

制服バリエーション

冬期



スラックス・スカート×ネクタイ・リボン×長袖・半袖のYシャツで組み合わせ自由！
クールビズ期間は、ネクタイ・リボンは着用なしでもOK。



ブレザーを着用！スラックス・スカート×ネクタイ・リボンは組み合わせ自由。
コートは黒や紺、部活動指定の防寒着がOK。

地域の人たちと共に課題解決 川根高校ならではの学びの時間

川根高校魅力化コーディネーター
松浦 直希さん(静岡県掛川市出身)

探究学習は、生徒それぞれが地域資源を生かすためのテーマを掲げ、地域の方々と共に課題解決に取り組む実践的な学びの場。調査、研究から商品化や事業化、情報発信まで視野に入れ、将来の地域リーダー育成につながる主体性を育てています。町の方々もこの学習に積極的に関わってくださり、地域と学校がひとつになって町を活性化する意気込みが感じられ、コーディネーターとしても充実した日々を過ごしています。



町全体が僕らのキャンパス 川根高校の魅力！

1 中高一貫

中・高・地域の「超・密着型」コミュニティ



- ① 探究のバトンをつなぐ
:連携型中高一貫教育により、中学生と高校生が共に学び、教え合う濃密な時間を共有。
- ② 大人が混ざる「対話の日常」
:ワークショップには、役場職員・移住者が当たり前のように参加。多世代がフラットに議論する環境が、生徒の視座を自然に引き上げます。

2 少人数

「個」が埋もれない、圧倒的な距離感



- ① 伴走教育のリアル
:1対1に近い距離感だから、先生は「教える人」ではなく「一緒に走る人」。
- ② 「待ちの時間」のない3年間
:大規模校のような順番待ちはなし。発表も、発言も、地域プロジェクトのリーダーも、常に自分が主役です。

3 当事者

「地域課題」を「自分ごと」に変える



- ① フィールドワーク
:役場で、イベント会場で、地域住民のお宅で。町の課題をシミュレーションではなく「当事者」として解決していく経験が、一生モノの自信になります。

4 進路

「探究」が、進学先での「学び」に直結する



- ① 学びのエネルギー
:地域での実体験から「もっとこの分野を極めたい」という意志が芽生える。
- ② 研究への地続き
:3年間の探究活動をベースに、大学や専門学校での専門研究を見据えた進路(農学・社会学・ICT等)を選択する生徒が増えています。

5 インフラ

暮らしを支える「最強のサポート体制」



- ① 公営塾の設置
:学校の授業だけでは補えない分野の学習的な支援。基礎から発展的な内容をもれなくカバー。
- ② 寮の共同生活
:全国から集まる仲間との暮らし。何気ない日常の生活を通じて、自立心と高い社会性を育みます。

6 世界

インドICT研修:山あいの町からグローバルへ



- ① ローカル×テクノロジー
:伝統を守るために最新のICTを学ぶ。世界を見て、改めて「川根本町の価値」を定義するグローバルな視点を養います。

少人数制が自分に合っている 人前で意見を言えるようになった

佐藤 絢亮
令和6年度入学(静岡県浜松市出身)

野球をやりたくて、また寮生活にも興味があったので、川根高校に入学しました。少人数で生徒同士、生徒と先生の会話が多くのこの学校の大きな魅力。中学の頃は人前で意見を言うのが苦手だったのですが、今はお互いをよく知る友達や先生の前で、自信をもって発言できるようになりました。私には少人数の川根高校の環境が合っていたのだと思います。自分に自信をもてるようになりたい、自分の何かを変えたいと思っている人に川根高校はおすすめできる学校です。卒業後は町役場に就職予定。この先も未永く、川根本町と関わってみたいです。



将来は海外で仕事をしたい インドICT研修は貴重な経験に

塚松 南帆
令和7年度入学(愛知県出身)

もともと一人で行動するのが好きで、高校は親元を離れて自立したいと思い、国内留学の候補先を何校か見学。豊かな自然環境と新しくきれいな寮に魅力を感じ、川根高校に入学しました。幼少期に海外で生活していた経験があり、将来は歯科衛生士になって海外青年協力隊で働きたいという夢があります。そのために、川根本町にオフィスを構えるIT企業のサポートで開催されているインドICT研修に、進んで手を挙げて参加しました。川根高校は自由度が高く、自分のペースで学べる学校だと思います。興味のある方はぜひ見学にきてください。



カヌーで川根本町の魅力をアピール! 部活もその一翼を担っています

カヌー魅力化コーディネーター
小山田 香貴さん(福島県出身)

川根本町の雄大な自然の恵みである接岨湖をベースに、「カヌーを活用した町づくり」を推進するコーディネーターとして川根高校カヌー部の指導をしています。高校入学後にカヌーに触れる生徒がほとんどですが、国民スポーツ大会やインターハイに出場している先輩たちもおり、大会でよい成績を残せるよう、みんな頑張っています。地域のカヌー愛好家やカヌー部OBが中心になって成立した「B&G川根カヌースプリント海洋クラブ」と共に、カヌーを通して多くの人たちに川根本町の魅力を伝えていきたいです。



寮生のライフスタイル

親元を離れて寮で暮らす先輩たちは、どんな日々を過ごしているのでしょうか？
寮生活を通して学んだこと、成長したことなどリアルな声を集めました。



奥流

実家にいた頃よりも、自己管理ができるようになった



小野澤 鉄郎
令和7年度入学（袋井市出身）

将来の希望は、自衛隊員か警察官になること。そのためには高校から親元を離れて寮生活を経験したいと思い、中学の先生に勧められて川根高校に。もともと5人兄弟でにぎやかな家庭で育ったので、寮での集団生活にもすぐ慣れ、友達もできました。入学して一年が過ぎ、自分が成長したなあと思うのは、毎日スケジュールを考えて生活を管理できるようになったことです。「勉強しなさい」と世話を焼いてくれる親が近くにはいないのは気楽である反面、自分でやらないと何もできません。そういう意味では、寮生活は自立を促してくれる場だと思います。アウトドアのスポーツや自然が好きなので、部活はカヌー部を選びました。春夏秋は朝練も行き、頑張っています。町の人口も生徒数も少ないですが、その分つながりが深く、勉強も先生からていねいに教えてもらえるので、川根高校を選んで本当によかったと思っています。

平日のタイムスケジュール

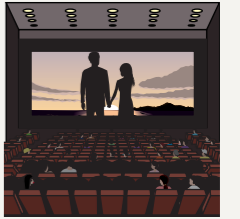
- 06:15 起床
- 06:20 朝食
- 06:40 身支度
- 07:10 朝点呼
- 07:20 登校
- 07:30 朝練習(カヌー部)
- 学校
- 16:30 部活動(カヌー部)
- 19:10 帰寮
- 19:15 夕食
- 20:00 入浴・洗濯
- 21:00 夜点呼
- 23:00 就寝



休日のタイムスケジュール

部活なし

- 06:20 起床
- 06:30 朝食
- 07:10 朝点呼
- 07:30 寮の友達と公共交通機関期間を乗り継いで藤枝へ
- 10:30 映画鑑賞・昼食
- 16:30 帰寮
- 17:00 部屋の掃除・片付け
- 18:00 夕食
- 20:00 入浴・洗濯
- 21:00 夜点呼
- 23:00 就寝



南麓寮

友達と生活を共にする3年間は、かけがえのない時間



折戸 雄基
令和6年度入学（焼津市出身）

高校では野球部に入りたいと思い、寮生活をしながら野球に打ち込める環境がある川根高校を選びました。集団生活は初めてのなので食事や入浴の時間、部屋の掃除などのルールを覚えるまでは大変でしたが、すぐに慣れました。友達とも日を重ねるにつれて会話が増え、いつのまにか仲良くなった気がします。毎日、朝起きて最初に会うのが友達で、夜寝る前に合うのも友達。自宅通学ではこんな体験はできないので、寮生活の3年間は貴重な時間だと思っています。川根本町は商店や娯楽施設は少ないけれど、雄大な自然に恵まれていて、いくらでも自分で楽しみが見つけれられる場所。卒業後は自動車メーカーに就職予定で川根本町を離れます。でもこのまちも学校も好きなので、野球部後輩の練習サポートを兼ねて、これからも川根本町に足を運びたいと思っています。

平日のタイムスケジュール

- 06:15 起床
- 06:20 朝食
- 06:45 身支度
- 07:10 朝点呼
- 07:20 登校
- 07:25 朝練習(野球部)
- 学校
- 16:30 部活動(野球部)
- 19:05 帰寮
- 19:30 夕食
- 20:00 入浴・洗濯
- 21:00 夜点呼
- 24:00 就寝



休日のタイムスケジュール

部活有り

- 05:30 起床
- 06:15 朝食
- 06:40 朝点呼
- 06:45 練習試合のため、準備・身支度
- 07:00 出発
- 09:30 練習試合
- 12:00 昼食
- 14:00 帰寮
- 18:30 夕食
- 20:00 入浴・洗濯
- 21:00 夜点呼
- 23:00 就寝



奥流

公営塾のサポートで勉強への意欲が生まれました



村田 春樹
令和7年度入学（浜松市出身）

中学生の時、将来は自衛隊員になって災害時の支援活動をしたいと親に話したところ、それなら高校から親元を離れて寮生活を体験してみたら？と川根高校を勧められました。入学当初、寮の親睦会があり、みんなで接岨峡に行きました。それが仲良くなるきっかけだったと思います。最初は、不慣れな生活の中で友達ができるか不安だと思いましたが、その気持ちは誰も同じ。特に寮生は顔を合わせる時間が多いので、心配しなくても自然と打ち解けられると思います。部活は郷土芸能部で和太鼓を叩いています。町のイベントにも参加することが多く、地域の方々の応援が励みになっています。また学習面では、寮内にある公営塾できめ細かいサポートが受けられます。先生から、わかるまでていねいに教えてもらえるので、以前よりも勉強が好きになりました。川根本町には、都市部にはない素敵なものがたくさん揃っています。ぜひあなたの目でそれを確かめてください。

平日のタイムスケジュール

- 06:15 起床
- 06:20 朝食
- 06:40 身支度
- 07:10 朝点呼
- 08:00 登校
- 学校
- 16:30 部活動(伝統芸能部)
- 18:00 帰寮
- 18:30 夕食
- 19:30 公営塾
- 21:00 夜点呼
- 21:30 入浴・洗濯
- 23:00 就寝



休日のタイムスケジュール

テスト前

- 06:30 起床
- 06:35 朝食
- 07:10 朝点呼
- 08:00 部屋の掃除・片付け
- 08:30 多目的室で友人と勉強
- 12:00 近所のスーパー、コンビニでおやつや日用品を買物
- 13:00 部屋で期末テストに備えて勉強
- 15:00 自由時間
- 18:00 夕食
- 20:00 入浴・洗濯
- 21:00 夜点呼
- 23:00 就寝



川根留學生のための 2つの寄宿舍

南麓寮、奥流。それぞれ特徴ある寄宿舍と、その暮らしを支えてくれるスタッフさんの声を聞いてみました。
あなたはどちらの寄宿舍で高校生活を送りたいですか？ 未来の自分をイメージしてみてください。

川根留学のリアルを紹介
川根本町ホームページで施設内部の360°
ビューや寮生の様子をチェックできます。



NANROKU 南麓寮(男子) 学校まで徒歩1分



使用料(毎月) ■東棟(2人部屋): 37,000円/月 ※朝・夕食、光熱水費込み
■西棟(個室): 47,000円/月

OURU 若者交流センター 奥流(男女) 学校まで徒歩15分



使用料(毎月) ■全室(個室): 47,000円/月 ※朝・夕食、光熱水費込み

24時間スタッフが常駐し、バランスの取れた食事を地元の調理員が作っています。

● エアコン、Wi-Fiが完備されています。 ● 地域との交流イベント等も開催しています。

Staff Interview

私たちスタッフが全力でサポートしています。



親代わりとしてみんなを見守り、
支えています。

夜間業務員 西田 稔

私の役割は主に夜間の寮生活を安全で快適にすること。基本は見守って、何かあれば相談のったり、指導をしたり。イメージとしては寮生の親父ですね(笑)。ここには勉強でも部活動でも本気で打ち込める環境がある。いつも隣に仲間がいる環境は素晴らしいですよ。



寄宿舍にいる間も、卒業してからも、
私たちはあなたの味方です。

昼間業務員 芦沢 由子

生徒たちが学校に行っている時間の寄宿舍の管理、掃除や洗濯の補助など、生活の環境を整えることが主な仕事です。楽しみなのは生徒たちとたくさん話せる土曜日と日曜日。悩みごとや恋愛の相談にものりますよ。みんな親元を離れて、よくがんばっているなあと感じています。



苦手なモノも食べてみて。
挑戦する力が身につくと思うから。

調理員 丹田 祐介

寮生活の食に関する全般的なサポートをしています。食べる様子を見ていれば、健康状態も、心の状態もわかりますから、「何かあった？」と声を掛けることもありますね。みんなの成長していく姿を、3年間ずっと見ていられることが一番の喜びです。

一人ひとりに一つひとつのオーダーメイド個別指導

川根本町公営塾

公営塾では一人ひとりの「可能性」を上げ、一つひとつの「選択肢」を増やしていくよう、良きサポーターとして、共に努力し、共に成長し、共に達成感や夢を創造していくよう全力で支援していきます。

川根高校生・町内在住の高校生
三ツ星学園生・光の森学園生 : 4,500円/月
※120分×8回/月 まで利用可能
川根中学生 : 9,000円/月(条件により還付あり)



個別指導 + 映像指導 = ハイブリッド個別指導

基礎や学校授業のフォローを行います。時間をかけてしっかりとした土台をつくります。

質の高いハイレベルな指導を、短時間で集中して効率に行います。

個別指導と、最先端の映像指導で、より効率的で質の高い指導が可能になります。勉強に対する土台も身に付き、質の高いハイレベルな授業も行え、わからない部分が見つかって個別指導で解決します。より効率的に短期間で成績が上がる、生徒のことを一番に考えた指導スタイルを取り入れています。

進路状況(過去5年)	国立大学	私立大学	短期大学	専門学校	就職
	・静岡大学 ・静岡県立大学 ・静岡文化芸術大学 ・長野大学 ・信州大学 他	・青山学院大学 ・日本体育大学 ・金沢工業大学 ・駒澤大学 ・日本大学 他	・静岡県立大学短期大学部 ・常葉大学短期大学部 ・静岡県立農林環境専門短期大学部 ・静岡英和学院大学短期大学部 ・三重短期大学 他	・静岡福祉医療専門学校 ・島田市立看護専門学校 ・静岡デザイン専門学校 ・大原簿記情報医療専門学校 ・東海こども専門学校 他	・川根本町役場 ・JR東海 ・ゾーホージャパン ・中部電力 ・島田掛川信用金庫 他

川根本町 特別奨学金事業 (給付型)



【その他の制度】
提携金融機関による低金利で教育ローンの提供、借入元金の一部や利子相当額の補助が受けられる制度「川根本町ネクストリーダーズプロジェクト」があります。

「川根本町ネクストリーダーズプロジェクト」登録はこちら

